

## 農林金融2012年 6 月号

## 地域営漁組織の育成と漁業再生の課題

(鴻巣 正)

震災からの漁業復興に向けて、被災地では、漁船や生産施設を漁協の共同利用施設として整備し、漁協の組合員組織を活用した協業化がはかられている。被災漁業者は、漁業協業組織で着業し、共同体による漁業の再生を目指している。

震災対応で組成された漁業協業組織は、地域営漁組織といえるような要件を具備しており、沿岸漁業における中長期的な漁業経営としても注目される形態である。

TPPなどの外圧の脅威が迫るなか、地域政策としての漁業振興の観点が、一層重要になっている。地域営漁組織は、漁村地域を支えるための漁業振興の受け皿となるもので、地域営漁組織に諸施策を集中し、安定的・持続的経営体として育成するための条件整備を急ぐ必要がある。

(情勢)

## 大震災からの漁業復興に向けて

(鈴木利徳)

## 目次

- 1 被害状況の把握と緊急支援活動
  - (1) 復興対策本部の設置
  - (2) 被害状況の把握と救援物資の搬送
  - (3) 義援金
  - (4) 燃油の確保
- 2 復興に向けての取組みと政策提言
  - (1) 復興・再生プロセスの考え方
  - (2) 要請活動の展開
  - (3) 第1次補正予算
- 3 本格的復興に向けた取組み
  - (1) 漁業・漁村の復興・再生に向けた検討委員会
  - (2) 加工・流通の一体的な復興
  - (3) 燃油税制の特例措置にかかる取組み
  - (4) がんばる漁業
- 4 水産特区構想に対する反論
- 5 原発事故への対応
  - (1) 放射能汚染水の放水に対する抗議活動
  - (2) 原子力損害賠償の請求

## 農林金融2012年 7 月号

## 農業経営体の経営多角化と農協系統の農業金融

(長谷川晃生)

農業経営体の経営多角化のなかでも農産物加工への取組み数が多い。事例調査結果によると、農業経営体では、加工部門が一般の食品製造業の中小企業ないしは小規模企業者と同程度の事業規模へと経営発展すると、金融機関選択にも変化が生じ、金利等の借入条件だけでなく、借入手続きの簡便さ、販路開拓支援、経営ノウハウの提供、安定的・持続的な取引といった点が重視される。

農業経営体の加工部門が経営発展していくと、農協の農業生産を中心としたこれまでの審査や融資後の管理では対応しきれない面もある。したがって、信農連から農協への融資ノウハウ移転等による融資体制の整備が求められる。また融資にあたっては、信農連が補完機能を発揮する必要があるものと考えられる。

## 農業法人における人材育成の取組み

(小針美和)

農業法人の成長・発展に応じて必要とされる技術力やマネジメントが高度化するなかで、人材育成の必要性が高まっている。本稿では、近年増加傾向にあり、政策でも次世代の農業の担い手の一つに位置づけられている雇用就農者(法人に就職する形で就農)の育成に着目した。

現場の先進的な取組みには、組織的な営農体制の構築や、技術の可視化・共有化や情報管理の高度化等による状況変化への対応力の強化等、実際の現場作業のなかで雇用就農者がより早く技術を修得できる仕組みがあり、有効なOJTとして機能している。また、農業経験の浅い雇用就農者の能力育成を促進するには、職場でのOJTとともに、OJTと結びついたOff-JTを組み合わせることが効果的と考えられる。

## 農林金融2012年 6 月号

(情勢)

森林組合の事業・経営動向  
—第24回森林組合アンケート調査結果から—  
((財)農村金融研究会 調査研究部長 室孝明)

目次

- 1 調査対象組合の概況
- 2 員外利用の動向
- 3 素材の販売方法・流通経路の動向
- 4 施業集約化の現状と目標

## 農林金融2012年 7 月号

(外部寄稿)

地域農業振興に果たすJAの役割  
((社)農業開発研修センター 会長理事 小池恒男)

目次

- 1 新たな地域農業振興対策が求められる時代背景
- 2 私たちは今、どのような構造変化に直面しているか
- 3 農産物の需給緩和基調にどう対応するか
  - (1) 調査事例 3 JAの10年間の販売額の推移
  - (2) 加工需要を取り戻す
  - (3) 産地形成と差別化戦略
  - (4) 直売所の設置・拡充をはじめとする地産地消の取り組み
- 4 地域は今、何を求めているか
 

—地域農業振興の決め手は何か—

  - (1) アンケートにみる地域農業活性化の決め手
  - (2) アンケート表の再整理と「活性化の決め手」の集約
- 5 地域農業振興の基本課題と実行方策

## 金融市場

### 2012年 6 月号

潮流 人口減少の影響

情勢判断

円高・デフレ克服への意欲が問われる日本銀行

情勢判断(海外経済金融)

- 1 底堅い回復が続く米国経済
- 2 ギリシャの政局混迷の陰で高まるスペインのリスク
- 3 中国の景気下振れは回避へ

2012～13年度改訂経済見通し

分析レポート

- 1 データから見た被災 3 県の景気の今
- 2 地域銀行の寄付型定期預金の動向
- 3 石油市況の現状と先行き

連載

- 1 経済金融用語の基礎知識  
不安の残るEFSFとESM
- 2 新興国ウォッチ！  
為替制度(1)：各国の制度について

### 2012年 7 月号

潮流 ドイツ倫理委員会が示す未来への責任

情勢判断

- 1 消費税増税に向けて強まるデフレ脱却前倒し要請
- 2 2012～13年度改訂経済見通し  
(2次QE後の改訂)

情勢判断(海外経済金融)

- 1 回復の勢いが鈍化する米国経済
- 2 経済成長重視への転換はユーロ圏を救うか？
- 3 投資などの持ち直しで中国経済が底打ちの兆し

分析レポート

- 1 「札割れ」が頻発する日本銀行の金融調節
- 2 中央・地方政府間の財政関係から見た中国の地方債務
- 3 再生可能エネルギー固定価格買取制度の概要と課題

連載

- 1 経済金融用語の基礎知識  
市場の緊張を表す恐怖指数「VIX」
- 2 新興国ウォッチ！  
為替制度(2)：カレンシー・ボード制の特徴と理論

海外の話題

8年ぶりのNY